

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

山形酸素株式会社

山形市にある山形酸素株式会社の若手社員、柴田愛さん取材しました！
柴田さんは、東北福祉大学総合福祉学部を卒業後、2015年に入社しました。
現在は、総務部総務課で勤務しています。
また、同じく総務部総務課の後藤香久美さんにも同席していただきました。

(1) 仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。

私は、本社の総務部総務課に所属し、バックオフィス業務を担当しています。総務の仕事内容は多岐にわたりますが、一言で言うと、社員の働きやすい環境をつくる部署です。毎日どのようなことを行っているのか具体的にお伝えするのは難しいのですが、イメージしやすい部分では、社員の名刺やユニフォームなどの営業活動に必要な物品の発注や在庫管理、伝票や封筒などオフィスで使用する備品の一括購入窓口を担当しています。コロナ禍においてはマスクや検査キットの手配のほか社員の感染対策対応もおこなっています。そのほか、郵便や契約書の管理、慶弔対応、人事・社員資料の作成、出張会合の手配精算、入社式や社員総会などの社内行事運営、採用活動や社内研修のサポートなども業務の一例です。また、当社は県内内陸部に7拠点がありますので、各拠点からの依頼・要望にも随時対応します。



——幅広いですね……！ 以前は現場にも出ていたと伺いました。そうすると資格なども必要になるのでしょうか。

(柴田さん)

今年で入社 8 年目になります。実は入社 4 年目までは、技術部門に所属し、ほとんど現場に出ていました。資格は……そうですね、ガス関係ということで皆さんには聞き慣れないかもしれない資格をたくさん持っています(笑)。 高圧ガス販売主任者一種・二種、危険物取扱者(乙種 4 類)、この 3 点は、当社で販売している LP ガス・産業ガス・灯油を取扱うために必要となる資格です。ほかには、高圧ガス製造保安、消防設備に関する資格なども取得しています。



もともと高圧ガスの専門知識や資格を持っていたわけではなく、入社後に一から学び経験するなかで知識を深めていきました。それは私だけではなく、文系理系に関わらず、他のほとんどの社員も同様だと思います。入社後、会社の資格取得制度を活用し勉強したり、社内講習会に参加したり……先輩からのアドバイスなど、様々なサポートを受け国家資格を取得することができました。



(後藤さん)

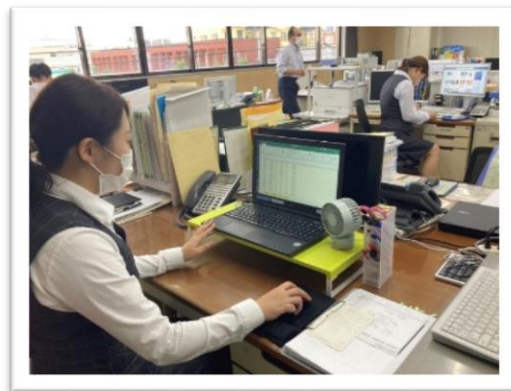
会社の制度について補足すると、当社には資格取得を補助する制度があり、1 資格あたり 3 回までは会社が受検費用を負担しています。

(2) 職場編

——山形酸素に就職を決めたきっかけは何ですか。

私は生まれも育ちも山形で、家族の近くで長く働きたいというのが一番の理由でした。また、私の就職活動はちょうど就職氷河期にあたる時期でして……なかなか満足のできる結果が出ず最後まで就活を続けていましたね。そんな時、弊社の企業説明会や面接を受けたのですが、対応がとてもあたたかく、社員の人柄の良さや社風が伝わったこと、実際に取引をしている知人の話も参考にし、この会社への就職を決めました。

大学で専攻していた地域防災の講義や、大学1年生の時に東日本大震災を経験し、インフラ設備の重要性を感じていたことも理由の1つです。



——入社して良かったところはありますか。



社員のチャレンジを後押ししてくれる雰囲気が良いなと感じています。また、当社の商材である高圧ガスは、加工食品や産業機器など様々な製品の生産過程で利用されているのですが、幼い頃からよく耳にしている山形の代表的な企業様との取引が数多くあると入社後に知りました。私は内勤で、実際にお客様と直接関わる機会はほとんどありませんが、ガスディ

ャーラーは地域産業に必要不可欠な存在であると気付かされたと同時に、お客様の商品がメディアで取り上げられた、技術開発で受賞されたなどの情報が入ると、間接的ではありますが、当社のガスをとおして山形のものづくりを支えられているのだな、と嬉しくなりますね。

——チャレンジしたいことはどんなことですか。

うーん……いざ聞かれると難しいですね
(笑) 社内の情報共有の仕組みを整えること
でしょうか。文書の電子化への対応や、情報
共有ツールの活用はもちろんですが、「ルー
ルの見える化」を進め、社員の時間や労力の
削減に繋がりたいです。そのために、ベテラン
社員でも新人でも誰が見てもわかりやすく
利用できる仕組みを増やしたいと思ってい
ます。



——会社概要を見ていたら、ガス以外のものも取り扱っているとの記述がありました。



(後藤さん)

実はスーツやゴルフ用品、家電製品なども取
り扱っています。会社の業態が「商社」ですの
で、こういった物も仕入れることができるん
です。他にも、飲食店のホイップクリームを作る
ディスペンサーや、新たなエネルギーとしてペ
レット燃料、工場のオフィスで使用するロッカ
ーなどの注文を受けることもあります。何度も
顔を出し、挨拶や世間話、ネット購入では得ら

れないような情報の共有などを経て、当社の担当者を信頼し、購入したいと思っただけ
るのは嬉しいですね。また、当社の商材の幅広さは、お客様にとっては、注文購入先の一本
化に繋がり便利だとお声をいただくこともあります。

(3) ある日の過ごし方編

● 8:15 【出社】

制服に着替え、出社。まず PC を立ちあげ、社内ポータルで今日のスケジュール確認とメールチェック後、体操・朝礼の準備（演台や音響など）をします。本社に勤務する社員全員がラジオ体操・朝礼に参加します。

● 9:00 【総務部ミーティング】

週のはじめに、総務部のメンバーが集まりミーティングを行います。

各人のスケジュール確認や、業務の進捗状況の報告、人事・労務事項の共有のほか、部内の改善点について意見を出し合う場でもあります。



● 10:30 【郵便物管理】

郵便物を仕分けし、各担当者へ振り分け。月初は特に請求書類が多いです。

● 12:00 【お昼休憩】

デスクでお弁当を食べたり、先輩方とラーメンを食べに出かけたりします。



●13:00 【各所要業務】

※その日の状況に応じた業務を行います。年次・月次スケジュールや、突発の依頼・要望など優先順位を常に考えたスケジュール管理が重要です

【例、随時】

- ・全社一括購入備品の発注や、印刷会社など納入業者との打ち合わせ。
- ・社員資料作成
- ・慶弔対応（社内・取引先のお祝いやお悔やみへの対応など）
- ・各部門や営業サイドの依頼への対応(契約書など)

【例、年間行事】

- ・入社式、内定式、社員総会、株主総会など。(2か月前から準備するものも)

【例、会議体】

- ・5S委員会、プロジェクトチーム(各部署様々集まった社員による)の活動。



●15:00 【出庫作業】

各拠点（営業所）からの注文品（名刺・ユニフォーム・伝票類など）を本社から社内便で発送します。

●17:15 【退勤】

退勤後はランニングやウォーキングでリフレッシュするのが理想ですが、最近はテレビやYouTubeを見ながら炊事をしたり、家事を済ませのんびり過ごすことが多いです。笑

(4) むらやまでの暮らし編

——村山地域で就職してみて、良いなと感じるところはどんなところでしょうか。



私は、生まれ育った家の前が河川敷だったので、暇さえあれば川原で遊びまわる子どもだったんですよ(笑)。そのため、自然と触れ合う時間がすごく好きで。日常生活の中でふと目に入ってきた景色に感動したり、山形の自然に触れてのんびり、落ち着くことができたりするのはこの地域に住む特権だと日々感じています。休みの日はちょっと足をのばせばキャンプや釣りが楽しめるのも良いですね。



——いろいろな趣味をお持ちですね。他に何か趣味はありますか。



(柴田さん)

ほかの趣味……どれかな……。

(後藤さん)

え、ラーメンじゃないの(笑)?

(柴田さん)

そうですね! ラーメンの食べ歩きが大好きです(笑)。おすすめは、会社の近くにある某有名ラーメン店さんです。私はこてこてのラーメンが好きで、ここでは海老と煮干しの出汁が効いたラーメンが食べられます。会社の人とよく一緒に食べに行きます。ぜひ行ってみてください。ほかにも紹介したいお店はたくさんありますが、名前を出したらきりがないので、気になる方は……ぜひ連絡をください。

——仕事が終わって帰宅した後やお休みの日などは、どのように過ごしていますか。



休みの日はよく食べ歩きをしています！新しいお店を開拓するのは楽しいですね。退勤後は、最近ですと、10月に山形まるごとマラソンに出場するのでランニングをしています。そういえば、当社の福利厚生の一つにマラソン大会の参加費助成があり、その後押しを受けてマラソンに挑戦する社員もいました。コロナ禍以前は、社員同士で馬見ヶ崎川でBBQを楽しんだこともあります。

——こうした活動は会社全体で行うのですか？それとも一部で自発的な集まりですか？

その時は、会社としてではなく、自発的な集まりでしたね。

——自発性のある社員さんが多いのですね……！

首都圏と比べて、山形のどんなところが良いと思いますか。また、逆にデメリットだと思うことはありますか。

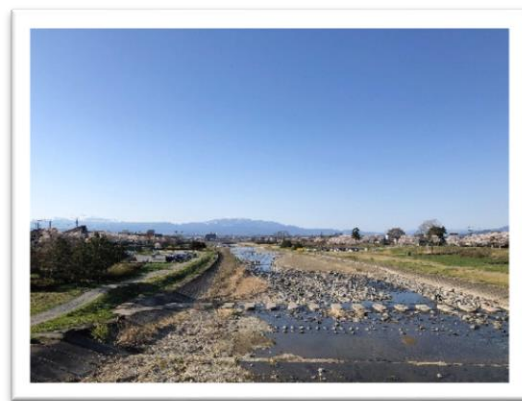


私は車の運転は好きな方で、自然豊かな景色を見ながら楽しく運転できることが良いところだと思います。デメリットは……冬の除雪ですね。朝起きて、自宅駐車場の除雪をし、会社に到着後は会社玄関の除雪をしますが、結構しんどくて（笑）！やっぱり雪の多さは、山形ならではのだな、と思います。

——山形で好きな場所はどこでしょうか。

(柴田さん)

個人的には馬見ヶ崎河川敷が好きです。ほかには庄内の港や、蔵王の温泉などですかね。



(後藤さん)

蔵王と山寺は絶対に行った方が良く！！山寺は登ると達成感があります。それから、歩いて登るうちに煩惱が消えるそうですね。私は何度も登っていますが、煩惱は消えません(笑)

——山寺の紅葉、綺麗ですよ。ちなみに、山形の四季をどのようにして楽しんでいますか？

(柴田さん)

春は、馬見ヶ崎河川敷の桜並木がきれいなのでぜひ散歩してほしいです。夏は、美味しい野菜がたくさん食べられることですかね。山形のだしが凄く好きです。庄内で海釣りもおすすめです。秋は、芋煮を作って食べる。冬は、とにかく運転に気をつけて過ごしています(笑)



(後藤さん)

冬は、雪で外出が難しいときは家に籠って資格の勉強をするなど、自身のスキルアップには良い期間です。……芋煮会の話が出ましたが、山形の秋の大イベント「日本一の芋煮会」の大鍋を作っている企業にも、当社はガスを納入しているんですよ。

——やはり雪は大変ですね。山形は雪の他にも、交通機関などの面で不便を感じることもあるのですが、そういった不便さにはどうやって付き合っていくのが良いのでしょうか？

(柴田さん)

私自身は車通勤で、交通機関を利用する機会は少ないです。学生さんや公共交通機関を利用される方は、待ち時間が長い場合は、好きな音楽を聴いたり、今はスマホで動画学習をしたりもできますから、時間ができてむしろラッキー！と試してみてもどうでしょうか。ポジティブに捉えることが重要なのかなと。

(後藤さん)

雪が多い日は、早めに起きて早めに出発と、何ごとも「時間」に余裕を持ち行動するので、その結果仕事でも「心」の余裕ができるのはいいかなと思っています。

(5) まとめ編

——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。

業務の簡素化や効率化を目指しています。自分の担当業務を簡素化し、もっと社員の要望に応えるための時間をつくりたいです。また、総務業務で必要となる知識を、深く掘り下げる時間を増やしたいです。



——20年後のご自身の姿はどうなっていると思いますか？

(柴田さん)

20年後ですか?!……全く想像がつかない(笑)。私は2年前に社内結婚しているのですが、夫と私どちらも子育てをしながら仕事と家庭の両立がうまくできていたらいいなとは思いますが。山形県は共働き世帯数が全国でもトップクラスということもあり、周りの理解・支援の面では安心できるかなと。仕事のスキルアップは続けられていたらいいなと思います。

(後藤さん)

20年と考えると難しいですね(笑)。職場の女性社員の先輩の中には、きちんと子育てと仕事の両立ができていて多いので、そういった先輩方の話を聞きながら、将来に向けて準備したいと思っています。

——これから就活する学生へ向けて、学生のうちにやっておいた方が良いことなどのアドバイスをお願いします。

(柴田さん)

自身の就職活動を振り返ると、自己分析は特に大事だったなと感じています。自分の好きなことや得意なことは、すごく伸びますから。自分を客観視するために、周りの方に自分の印象を聞いてみることもおすすめです。業界を絞る際には、興味のある分野だけではなく、今後伸びていく業界など、幅広い視点を持ち調べてみると良いと思います。あとはやはり、ちゃんと授業に出席することですかね！(笑) もちろん、友達と過ごす時間も大事にしてほしいです。

(後藤さん)

私も友達と「遊びきる」ことは大事だと思います(笑)。私は正直アルバイトばかりしていたのですが、東日本大震災の影響で大学の卒業式が無くなり、そのまま会えなくなった友達が多く、なんで友達ともっと遊ばなかったんだろうと後悔しました……。思い出が今の自分をつくり、今の自分を支えてくれていることを、社会人になった今よく感じています。ぜひ皆さんはたくさん遊びたくさん思い出を作ってください。社会で出てからも、仕事でちょっと失敗した時にも話せるような友達を大学生のうちに作り、大切にしてほしいと思います。

——最後に、働きやすい職場づくりについて教えてください。



(後藤さん)

社員の男女比が8：2で圧倒的に男性社員が多く、また、体力がある男性が外勤として現場に出ることが多くなっています。女性社員の多くは内勤です。ですが、仕事一つ一つに対し、内勤や外勤で区別せず、社内で協力体制を作ることが重要だと当社では考えています。

例えば、外勤の仕事はお客様を訪問する以外にも、提案資料の作成がありますが、その

資料作成は必ずしも外勤社員が行うのではなく、得意な人が大枠を作成した方が効率がいい場合があります。要点は営業がおさえて意見を伝え、一緒に作ればよりいいものができます。このやり取りをとおして、外勤内勤、皆のスキルアップの幅が広がることにもなるので、協力していこうという考え方にシフトしています。また、柴田さんのように、現場を見た経験から感じる内勤業務での気付きを、業務改善に活かすのも大切だと思っています。

現在当社では、所属やフィールドが違う社員同士の交流機会を増やし、できるだけ社員全員が何らかの委員会や会議体への参加を経験することを目指しています。

(柴田さん)

時代が求める働き方も変化していますから、有給休暇や育児目的休暇などの取得ができるよう、社内体制を整えることが重要と感じています。

永年勤続の慰労のために、勤続年数に応じた旅行券と休日が付与されるのですが、私は現在8年目なので、10年経ったら旅行券を使ってどこか遠いところへ行きリフレッシュしたいなと思っています(笑)

(柴田さん)

休暇に関連し、育児に関わる制度を補足しますと、当社は「子育て支援企業宣言」を掲げ、社員が仕事と家庭を両立できる働きやすい会社を目指しています。また、次世代育成支援対策推進法に基づき一般事業主行動計画(5か年)を進めています。その一つに「育児目的休暇制度」があり、これは育児を目的として幅広く利用できるもので、子供の園行事やお祝いごとなどで多くの社員が利用しています。また、子供の通院や看病での利用も多いです。このような「子の看護休暇」は、別途、法定で付与されるものでありますが、子供が小さい内は、予防接種や健康診断、急な発熱での通院もよくあり、法定日数分だけでは不足することがあるため「育児目的休暇制度」でカバーできる仕組みになっています。

現在は、次の段階として、制度の期間拡充を進め、小学校入学後もこの制度を利用できるよう準備しているところです。

(後藤さん)

先程伝えたとおり、男性社員が多いのですが、まだ男性社員の育児休暇の取得例がありません。これは当社の大きな課題です。どうやったら男性が取得できるようになるだろうと考える必要があります。

———ありがとうございました！

柴田さんや後藤さんのお話から、山形への愛や、職場の良い雰囲気づくりに対する熱心な思いが伝わりました。山形酸素株式会社さんは、社員の主体性を重んじているということで、会社はあくまでも社員のチャレンジをサポートする立場であるというところに良い印象を抱きました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部
芳賀愛衣、蜂谷優花、小笠原美桜】

山形酸素株式会社

★社員同士の主体的な意見交換の場を若手の内から経験！

LP ガス・産業ガス・医療ガスと使用するガスによって家庭・企業・病院・大学と様々なお客様がいらっしゃることから社内情報共有を重視し、若手の内から部署年齢を問わず委員会など意見交換と考えを発信する機会を持つようにしています。

★LP ガス販売事業者ゴールド保安認定、医療関連サービスマーク認定、山形いきいき子育て介護応援企業(ゴールド)認定

- ・所在地 山形市久保田一丁目7番1号
- ・設立 昭和31年9月
- ・従業員数 178名（男性142名、女性36名）
- ・事業内容 LPガス、産業ガス、医療ガス、石油と関連機器類の卸・小売業
- ・URL <http://sunene.co.jp/>